

しものせき Port News

国土交通省九州地方整備局下関港湾事務所広報誌 しものせきポートニュース

- Contents -

特集 脱炭素社会を目指して

下関港の脱炭素化

LNGバンカリング

トピックス

本港地区 細江ふ頭 岸壁工事 現地着手

海岸事業 工事進捗報告

桜山小学校 出前講座

インターンシップ 高校生の受け入れ

しものせきクルーズセミナー&クルーズシンポジウム

クルーズ船寄港情報

編集後記



船舶燃料(LNG)を供給するLNGバンカリング船「KEYS Azalea」

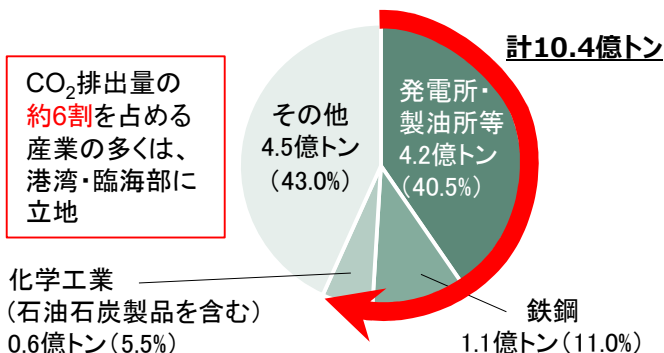
脱炭素社会を目指して

我が国では、積極的に地球温暖化対策を行うことで産業構造や経済社会の変革をもたらし、大きな成長につなげるという考えで2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする。即ち、「2050年カーボンニュートラル」の実現を目指しています。

下関港の脱炭素化

港湾は、CO₂排出量の約6割を占める発電、鉄鋼、化学工業等の多くが立地する臨海部産業の拠点、エネルギーの一大消費拠点です。CO₂削減の余地が大きい港湾地域において、脱炭素化に向けた先導的な取組を集中的に行うことは、2050年カーボンニュートラルの実現に効果的・効率的であると考えられています。下関港では、温室効果ガスの排出量や脱炭素化の取組み状況等を共有し、官民で連携して港湾内及び臨海部の脱炭素化を図るための取組みについて議論をするため、下関港港湾脱炭素化推進協議会(事務局:下関市港湾局)を設置しています。

CO₂排出量 (2022年度確報値 2024.04.12公表)



(出典) 国立環境研究所HP資料より、国土交通省港湾局作成

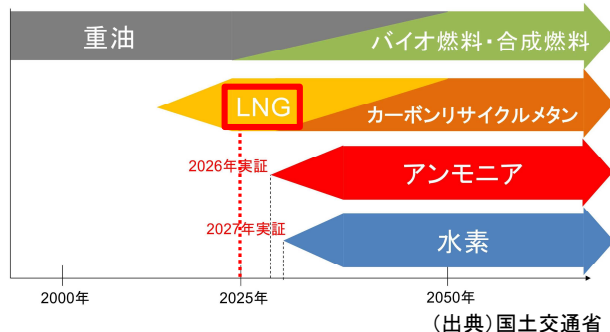


LNGバンカリング

船舶燃料の多くは重油に依存しています。LNG(液化天然ガス)は、従来の船舶用燃料である重油と比較して、CO₂排出量が25%削減できる上にSO_x(硫黄酸化物)を殆ど排出しないクリーンな燃料として注目されています。下関港は、本州から大陸への最短距離に位置し、本州と九州の結節点である地理的優位性を活かして、LNG燃料船の寄港を誘致するなど、官民一体となってLNGバンカリング拠点の形成による船舶の脱炭素化を目指しています。

LNGバンカリング拠点の中核を担うKEYS Bunkering West Japan(株)吉上CEOによると、「LNGバンカリングの依頼は着実に増えており、今後、日本海を航行するバルク船や自動車運搬船、LNG燃料クルーズ船(今夏就航予定の「飛鳥Ⅲ」など)の需要にも応えたい。下関港の長州出島でLNGバンカリングができることが船のLNG化にも繋がっていくのではないかな。そのような船会社が増えることに期待しつつ脱炭素化に貢献したい」とのこと。船舶燃料の大転換を契機に新たな関門域の発展が期待されます。

船舶燃料の大転換が進んでいます！



トピックス

本港地区 細江ふ頭 岸壁工事 現地着手

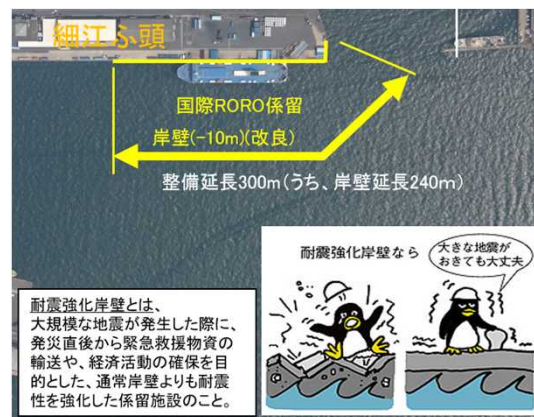
細江ふ頭の国際RORO船等が利用する岸壁(～10m)の老朽化に伴い、令和7年1月から岸壁耐震化の工事に着手しました。工事中にも岸壁は供用するため、荷役作業等に影響がないよう安全に配慮しつつ工事を進めます。



仮設工 基礎砕石転圧状況



仮設工 基礎ブロック据付状況



海岸事業 工事進捗報告

下関港海岸 直轄海岸保全施設整備事業では、高潮対策のため、長府・壇ノ浦地区4.2km、山陽地区7.8kmの海岸整備を実施しており、着々と工事が進んでいます。



山陽地区 新川水門



長府・壇ノ浦地区 7工区



山陽地区 宮崎水門

桜山小学校 出前講座

令和6年12月6日(金)下関市立桜山小学校の5年生を対象に出前講座を行いました。下関港と関門航路について輸出・輸入の観点から説明し下関の物流施設の役割や、必要性についてクイズをはさみながら楽しく学びました。



出前講座

インターンシップ 高校生の受け入れ

【下関商業高校】

令和6年12月10日(火)下関市港湾局と連携して下関商業高校1年生3名のインターンシップを実施しました。海上から下関沿岸を見学し、普段陸上から見れない景色に驚くとともに新鮮な記憶が残ったようでした。



海上での説明

【下関工科高校】

令和7年2月12日(水)～14日(金)の3日間、下関工科高校1年生2名のインターンシップを実施しました。下関港の各地区、海岸保全施設の整備・利用状況等についての説明を行い、その後船を使った海上施設見学、物流施設見学、海岸工事現場見学、水理実験センターやドック※を見学しました。今回のインターンシップを通し、港湾・海岸施設の役割、必要性について学ぶとともに、将来の進路選択等に活かしてもらえたら嬉しいです。

※ ドック…船を修理するための施設



所長講話



水理実験センターでの説明



ドックの説明

しものせきクルーズセミナー＆クルーズシンポジウム

令和7年2月10日（月）に、下関市主催、下関港湾協会共催で「しものせきクルーズセミナー2025」「しものせきクルーズシンポジウム2025」が開催されました。

「しものせきクルーズセミナー2025」の前田下関市長挨拶では全国クルーズ活性化会議の会長への就任をはじめクルーズセミナーを通じた業界全体の活性化について述べられました。漫画家・クルーズライター くぼこまきさんからは通常の旅行とクルーズ旅行の違いやメリットデメリット、クルーズ旅行の楽しさや魅力についてご説明いただきました。

また、「しものせきクルーズシンポジウム2025」では地元事業者や船会社、市民間の相互理解を深めることを目標とし国内外のクルーズ最新動向やクルーズ振興に関して、基調講演やパネディスカッションが実施されました。「客船寄港で街を活性化させるために」という地域の方との意見交換会も行われ、観光振興や地域経済の活性化とともにクルーズ産業を通じた地域の魅力向上が期待されています。



前田下関市長挨拶

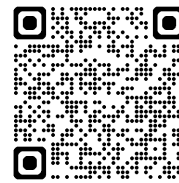


シンポジウムの様子
(シーモールパレス エメラルドの間)

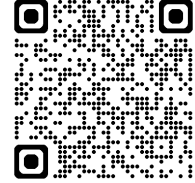
クルーズ船寄港情報

インバウンド観光の本格回復が期待されており、下関港に続々と国際クルーズ客船が入港しています。

2024クルーズ寄港実績



2025クルーズ寄港予定



令和6年12月5日入港 MITSUI OCEAN FUJI(あるかぼーど)



令和6年8月13日入港 にっぽん丸(第2突堤)



令和6年9月9日入港 メディタニア(長州出島)

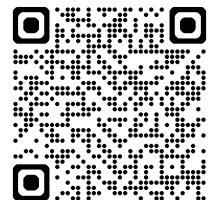


編集後記

4月からPort news作成・掲載を担当させていただき、もうすぐ一年が経とうとしています。

以前の編集後記で、今年は下関の魅力を伝えられるよう幅広くまた分かりやすくご紹介しようという奮闘すると書かせていただきましたが、下関港の魅力をしっかり伝えることができていたでしょうか。もし少しでも伝わっていたらいいなと思います。来年からは担当が変わりますがPortNews及び下関港湾事務所Xは続きますので、来年度も引き続き宜しくお願い致します。(内山)

下関港湾事務所X



SHIMONOSEKI
長府地区
新港地区
下関LC
JR下関駅
東港地区・唐戸地区
本港地区・岬之町地区
西山地区
KITAKYUSHU

**国土交通省 九州地方整備局
下関港湾事務所**

〒750-0066 山口県下関市東大和町2丁目29-1
TEL (083) 266-3291
HPアドレス <https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/shimonoseki/>

「海と港の総合窓口」
全国共通フリーダイヤル **0120-497-370**
受付時間: 9:30~12:00と13:00~17:00(土・日・祝を除く)

ご意見・ご感想をお聞かせください。

海峽メッセ
海峽ゆめタワー
下関警察署
下関消防局
大丸下関
シーモール下関
合同庁舎
下関市民会館
下関港国際ターミナル
港湾合同庁舎
第一突堤
山口ダイハツ
マックスバリュ
三井重工業
下関造船所
第二突堤

国土交通省 九州地方整備局
下関港湾事務所